

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公表番号】特表2007-509697(P2007-509697A)

【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2006-538033(P2006-538033)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

A 6 1 C 7/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月31日(2007.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯科矯正器具であって、

ベースと、

前記ベースから外側に延びている本体と、

略近心-遠心方向に前記歯科矯正器具を横切って延びているアーチワイヤスロットと、
ポストと、

アーチワイヤを前記アーチワイヤスロット内に解放可能に保持するためのラッチと、を備え、

前記ラッチがクリップを備え、前記クリップが前記アーチワイヤスロットに隣接してアーチワイヤを受容する部位と、前記ポストを受容する凹部とを備え、前記凹部が前記アーチワイヤを受容する前記部位と連通していない、

歯科矯正器具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

クリップ42は、第4のセクション58に繋がっている脚部セクション60を備える。
脚部セクション60は、第3のセクション50に略平行な方向に延びている。第3のセクション50、第4のセクション58および脚部セクション60は、協働して略「U」形の形態を示し、近心ポスト34を受容するための咬合側開口部を有する凹部62を画定する。